

事務事業評価シート 令和 3 年度事後評価・決算

令和 4 年 12 月 9 日時点

事務事業名		コード	29000	道路維持管理費	予算科目	会計	一般	款	8	項	2	目	2	事業種別	担当班	管理班
施策体系	基本施策	17		安全で快適な道路の整備	根拠法令	道路法、旭市法定外公共物管理条例								☒ 主な事業		
	施策の展開	36		市道の整備	戦略事業	172								☒ 国土強靱化地域計画		
	施策の展開				戦略事業									☐ 新市建設計画		
															☐ 定住自立圏構想	
															☐ 主要事業	

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	●認定市道及び法定外公共物において、道路排水路清掃、街路樹の維持管理等、道路に関する委託事業と作業員を常備することにより道路補修等、住民の要望に速やかに対応する。 【課員】道路排水路の日常的な管理業務 【作業員】主に道路の整地、草刈り、側溝清掃 【委託業務】市道植込(ツツジ、桜)保守、街路樹の維持管理、草刈り 【作業員】常時7人(繁忙期のみさらに2人)	住民から道路舗装の陥没及び穴の補修の要望がある。また、農業用排水路について、家庭雑排水を放流している関係上、地元の生産組合管理の排水路等に堆積土があり流れが悪く、大雨が降ると道路が冠水するケースが発生しており、住民から苦情がある。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	
車社会の到来により、舗装道路における破損の進行が著しく、破損箇所が起因となる交通事故、2次災害防止の目的及び排水路維持管理のため	・大型ダンプ等の通行により市道・農道の舗装の傷みが激しい。また、大雨による道路の冠水が発生している。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(3年度の決算)	単位:千円
1.賃金	17,115
2.需用費	8,846
3.委託料	19,012
4.原材料費	9,983
5.その他	9,785
② 特定財源の内訳(3年度の決算)	単位:千円
1.国庫支出金	
2.都道府県支出金	
3.地方債	
4.その他	

	単位	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(決算)	3年度(決算)	4年度(予算)
事業費						
1.賃金	千円	15,051	13,965	15,853	17,115	18,968
2.需用費	千円	10,747	11,968	9,222	8,846	10,090
3.委託料	千円	12,265	13,999	15,343	19,012	36,239
4.原材料費	千円	9,418	10,083	10,115	9,983	10,400
5.その他	千円	1,505	7,334	3,645	9,785	10,254
事業費計(A)	千円	48,986	57,349	54,178	64,741	85,951
財源						
1.国庫支出金	千円					
2.都道府県支出金	千円					
3.地方債	千円					14,800
4.その他	千円					
5.一般財源	千円	48,986	57,349	54,178	64,741	71,151

前年度増減理由	車両購入(1台)したため
---------	--------------

従事職員数 常時 7 人 最大 人 × 日 = 延べ 人

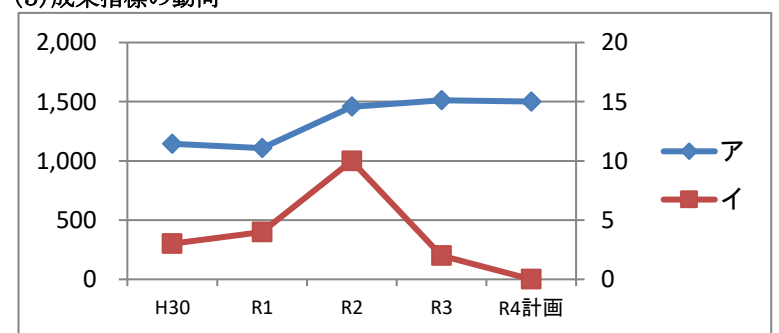
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(計画)
	3年度実績(3年度に行った主な活動) 道路排水路等清掃委託 道路維持管理	ア 道路の定期草刈り箇所数(委託実施)	箇所	20	16	16	17	20
		イ 作業員による道路補修等	件	600	543	667	638	700
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(計画)
	対象 ア 市道 イ 利用者(市民) ウ 街路樹	ア 年間要望・苦情の件数	件	1,144	1,108	1,458	1,512	1,500
	意図 ア 安全性の向上 イ 安心して通行できる ウ 景観が保全される	イ 道路維持管理に起因する車両事故件数	件	3	4	10	2	0
	対象 意図							

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	成果向上余地	成果優先度評価結果	コスト比率
	かなりある ある程度ある ほとんどない		下位 1/3 中位 1/3 上位 1/3
大きい		①	
普通	②	②	(2)
小さい		③	
		④⑤	
		⑥	
		⑦⑧	
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	② 成果の状況	③ 今年度取組事項	今後の方向性
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難			
	成果指標ア 成果指標イ	数値減=成果向上 向上 横ばい 低下 数値減=成果向上 向上 横ばい 低下	比較 29年度 30年度 1年度 2年度 3年度 30年度 1年度 2年度 3年度 4計画	成果動向 ア 37 Δ36 350 54 Δ12 イ 0 1 6 Δ8 Δ2
	【コメント】 (低下の場合、その理由)			
③ 今年度取組事項 (4年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今年度の方向性	
通年		道路パトロールを強化し事前準備、早期対策実施に取り組む。	通年	現状維持 見直し 廃止・休止 その他()

適切な時期に事前対応による処置で苦情、事故件数を縮小させる。

事務事業評価シート 令和 3 年度事後評価・決算

令和 4 年 12 月 9 日時点

事務事業名		コード	29200	道路維持補修事業	予算科目	会計	一般	款	8	項	2	目	2	事業種別	所管課	建設課	担当班	土木班
基本施策		17	安全で快適な道路の整備	根拠法令	道路法、旭市法定外公共物管理条例													
施策の展開		36	市道の整備	戦略事業	172	市道の維持補修事業												
施策の展開				戦略事業														

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	市道の舗装及び付属施設の破損をパトロール及び地元住民からの要望等により把握し、緊急性のあるものから維持補修計画を作成して市道の維持補修を行うものである。 緊急性の高い補修工事は、迅速に対応できるよう年間で業務委託を行っている。		大型車両の増大により開始時期の舗装構成では強度が不足している路線が見受けられる。	道路破損箇所が起因となったタイヤのパンク、自転車の転倒などの報告。補修の早急な対応が求められている。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状				
車社会の到来により、舗装道路における破損の進行が著しく、破損箇所が起因となる交通事故や2次災害防止の目的のため、事業を実施している。				

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (3年度の決算)		単位:千円
1.道路補修委託料	19,028	1件
2.調査・測量委託料		
3.道路舗装改修工事	307,443	103件
4.負担金補助及び負担金		
5.その他		
② 特定財源の内訳 (3年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金		
2.都道府県支出金		
3.地方債	215,700	道路維持補修事業債
4.その他		

事業費	費目内訳	単位	30年度 (決算)	1年度 (決算)	2年度 (決算)	3年度 (決算)	4年度 (予算)
事業費	1. 道路補修委託料	千円	12,420	15,571	17,006	19,028	20,130
	2. 調査・測量委託料	千円		1,419			
	3. 道路舗装改修工事	千円	204,580	191,823	161,666	307,443	334,400
	4. 負担金補助及び負担金	千円					1,000
	5. その他	千円					
事業費計 (A)		千円	217,000	208,813	178,672	326,471	355,530
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円	93,800	84,900	46,300	215,700	308,800
	4. その他	千円		4,384			
	5. 一般財源	千円	123,200	119,529	132,372	110,771	46,730

前年度増減理由	維持補修延長が前年に比べ1,721m増加したため
---------	--------------------------

従事職員数	常時 10 人	最大 人	× 日 = 延べ 人
-------	---------	------	------------

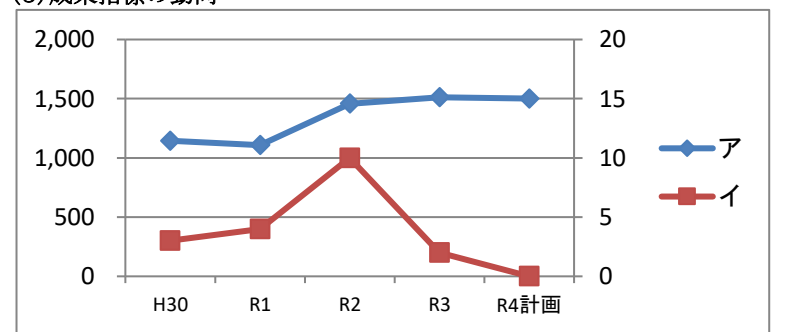
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (計画)
	3年度実績 (3年度に行った主な活動) 道路維持補修工事 103件 L=4,570m	ア 維持補修延長 (年間委託実施分を除く)	m	4,839	3,466	2,849	4,570	5,100
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	イ 年間委託による維持補修件数	件	59	53	76	66	70
	対象意図 市道 安全性の向上 対象意図 利用者 (市民) 安心して通行できる	ア 年間要望・苦情の件数	件	1,144	1,108	1,458	1,512	1,500
		イ 道路維持管理に起因する車両事故件数	件	3	4	10	2	0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	大きい	成果向上余地	コスト比率
	普通	かなりある	下位 1/3
	小さい	ある程度ある	中位 1/3
		ほとんどない	上位 1/3
評価結果	①		
	②		
	③		
	④⑤		(8)
	⑥		
	⑦⑧		
	⑨		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐完了☒順調☐概ね順調☐停滞☐実施困難													
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)														
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値減＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下	比較 成果動向	29年度 30年度	30年度 1年度	1年度 2年度	2年度 3年度	3年度 4計画	
				数値減＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下								
	【コメント】 (低下の場合、その理由)									ア	37	△36	350	54	△12
									イ	0	1	6	△8	△2	
③ 今年度取組事項 (4年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容			今後の方向性	☐拡大☐縮小☒現状維持☐廃止・休止☐見直し☐その他()									
	通年	例年どおり実施			通年	適切な時期に事前対応による処置で苦情、事故件数を縮小させる。									

事務事業評価シート 令和 3 年度事後評価・決算

令和 4 年 12 月 9 日時点

事務事業計画シート						所管課	建設課			担当班	土木班	
事務事業名		コード	29300	交通安全施設維持補修事業		予算科目	会計	款	項	目	事業種別	
						一般	8	2	2	☒ 主な事業		
施策体系	基本施策	28	防犯対策・交通安全の強化		根拠法令	道路法						☒ 国土強靱化地域計画
	施策の展開	61	交通安全環境の整備		戦略事業	254	交通安全施設維持補修事業					☒ 新市建設計画
	施策の展開				戦略事業							☐ 定住自立圏構想
											☐ 主要事業	

(1) 事務事業の概要		
① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する。行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	・交通安全の観点から必要な箇所には標識・照明灯・区画線等の交通安全施設の新設を行う。また、以前設置された交通安全施設の維持補修・更新を行う。 ・交通安全施設・・・防護柵（ガードレール）、照明灯、標識（案内標識、警戒標識）、区画線、路面表示、カーブミラー等 ・歩道設置や交差点改良は別事業で実施し、近年では、危険箇所へのカラー舗装等の注意喚起、耐用年数を迎えた防護柵、カーブミラーの更新、また昨年度実施された警察、学校、教育委員会と通学路の緊急合同点検を行った箇所への対応が中心になっている。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
交通事故の減少を目的として事業が開始された。	自動車の増加や、市道の総延長の増大により、交通安全施設の対策必要箇所は増えている。また、以前整備された交通安全施設は老朽化が進んでいる。	市民から、道路における交通安全施設の設置要望や不具合の情報等が多数寄せられている。また、近年相次いだ通学中の児童の交通事故を受けて通学路の安全対策が求められている。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (3年度の決算)		単位: 千円
1. 維持補修費	810	交通安全施設の維持補修(主に照明灯の電球交換)
2. 工事請負費	20,538	交通安全施設全般の新設・更新
3. 原材料費	795	カーブミラー、道路標識の購入費(職員直営の補修に使用)
4. 委託料	6,212	交通安全施設維持補修業務委託
5. 負担金補助及び交付金		
② 特定財源の内訳 (3年度の決算)		単位: 千円
1. 国庫支出金		
2. 都道府県支出金		
3. 地方債	1,000	交通安全施設維持補修事業債
4. その他		

		単位	30年度 (決算)	1年度 (決算)	2年度 (決算)	3年度 (決算)	4年度 (予算)
事業費	費目内訳	1. 維持補修費	千円 562	1,188	524	810	693
		2. 工事請負費	千円 12,317	20,781	23,330	20,538	29,647
		3. 原材料費	千円 281	919	822	795	807
		4. 委託料	千円 7,617	5,661	5,758	6,212	6,500
		5. 負担金補助及び交付金	千円 1,686				
財源	事業費計 (A)		千円 22,463	28,549	30,434	28,355	37,647
		1. 国庫支出金	千円				
		2. 都道府県支出金	千円				
		3. 地方債	千円	680	5,800	1,000	6,400
		4. その他	千円 1,700				
		5. 一般財源	千円 20,763	27,869	24,634	27,355	31,247

前年度増減理由	道路付属物修繕計画に基づく修繕対象物が少なかったため
---------	----------------------------

従事職員数	常時 1 人	最大 3 人	× 30 日 =	延べ 90 人
-------	--------	--------	----------	---------

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

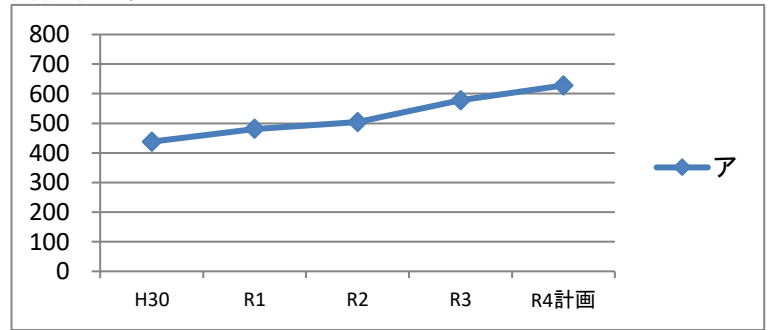
手段	① 主な活動		➡	③ 活動指標名		単位	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (計画)
	3年度実績(3年度に行った主な活動)			ア	防護柵新設・更新延長	m	120	84	627	327	350
	交通安全施設の設置・管理 通学路の危険箇所への対応										
				イ	カーブミラー新設・更新箇所数	箇所	53	23	21	29	25

目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		➡	④ 成果指標名		単位	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (計画)
	対象意図	市道及び利用者(市民)		ア	危険解消箇所数 (予定した対策が完了し、危険が解消された箇所数)	箇所	438	481	504	578	628
		安全性が向上する。安心して通行できる。									
	対象意図			イ							

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果				② コスト削減優先度評価結果			
		成果向上余地				コスト比率	
		かなりある	ある程度ある			下位 1/3	中位 1/3
施策貢献度	大きい			④			
	普通						
	小さい						
評価結果	①						
	②						
	③						
	④⑤						
	⑥						(11)
	⑦⑧						
	⑨						

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐完了 ☐順調 ☒概ね順調 ☐停滞 ☐実施困難												
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)													
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☒ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	比較	29年度 30年度	30年度 1年度	1年度 2年度	2年度 3年度	3年度 4計画
	【コメント】 (低下の場合、その理由)									ア	101	43	23	74
						☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	イ					
	③ 今年度取組事項 (4年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容			今後の方向性	☐拡大 ☐縮小 ☒現状維持 ☐廃止・休止 ☐見直し ☐その他()							
	令和4年度	交通安全施設の設置・管理 通学路の危険箇所への対応 長寿命化計画に基づく補修の実施			令和5年度以降	交通安全施設の設置・管理 通学路の危険箇所への対応 長寿命化計画に基づく補修の実施								

事務事業評価シート 令和 3 年度事後評価・決算

令和 4 年 12 月 9 日時点

事務事業評価シート										令和 3 年度事後評価・決算		所管課		建設課		担当班	土木班		
事務事業名		コード	29400 急傾斜地崩壊対策事業			予算科目		会計一般		款8	項2	目2	事業種別	☒ 主な事業					
施策体系	基本施策	17	安全で快適な道路の整備			根拠法令		特になし						☐ 国土強靱化地域計画					
	施策の展開	36	市道の整備			戦略事業		174		急傾斜地崩壊対策事業					☐ 新市建設計画				
	施策の展開					戦略事業									☐ 定住自立圏構想				
															☐ 主要事業				

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない																		
☒ 単年度繰返 ☒ 令和 元 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	急傾斜地やこれらに隣接する土地のうち斜面の崩壊により住民の生命に危害のおそれのある区域の保全を図る。本事業については実施主体は県となるが、特定要件により市が行うことがある。																		
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化					⑤ 事務事業に対する住民からの意見等													
急傾斜地崩壊危険区域に指定されていない区域の斜面の崩壊による被害を防ぐため。	地震や大雨等による土砂災害が全国的に増加し、問題となっている。					台風や大雨による土砂崩れが市内でも発生しており、地域住民から不安の声が上がっている。													

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (3年度の決算)	単位:千円
1. 調査・設計委託料	測量設計委託業務
2. 法面復旧工事	急傾斜地崩壊対策工事
3. 土地等借上料	工事用地借上料
4. 負担金	千葉県緊急急傾斜地崩壊対策事業負担金
2. 法面復旧工事	8,573
3. 土地等借上料	
4. 負担金	1,654
② 特定財源の内訳 (3年度の決算)	単位:千円
1. 国庫支出金	
2. 都道府県支出金	
3. 地方債	10,228 緊急自然災害防止対策事業債
4. その他	

事業費	費目内訳	単位	30年度 (決算)	1年度 (決算)	2年度 (決算)	3年度 (決算)	4年度 (予算)
事業費	1. 調査・設計委託料	千円			25,882		
	2. 法面復旧工事	千円				8,573	
	3. 土地等借上料	千円					
	4. 負担金	千円				1,654	6,000
	事業費計 (A)	千円			25,882	10,228	6,000
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円				10,228	6,000
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円			25,882		

前年度増減理由	事業の一部を道路補修工事で実施しているため
---------	-----------------------

従事職員数 常時 1 人 最大 人 × 日 = 延べ 人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動		⇒	③ 活動指標名		単位	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (計画)
	3年度実績(3年度に行った主な活動)			ア	測量設計業務委託の実施	件			3	0	0
	急傾斜地崩壊対策工事(横根地区)										
	千葉県緊急急傾斜地崩壊対策事業負担金(見広2地区)										
			イ	法面復旧工事の実施	件			0	1	0	
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		⇒	④ 成果指標名		単位	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (計画)
	対象 意図	急傾斜地に隣接する市道とその利用者		ア	整備済箇所数	箇所			0	1	0
		法面崩壊による市道の破損及び通行不可となることを防ぐ。									
	対象 意図		イ								

(4) 事務事業優先度評価の結果

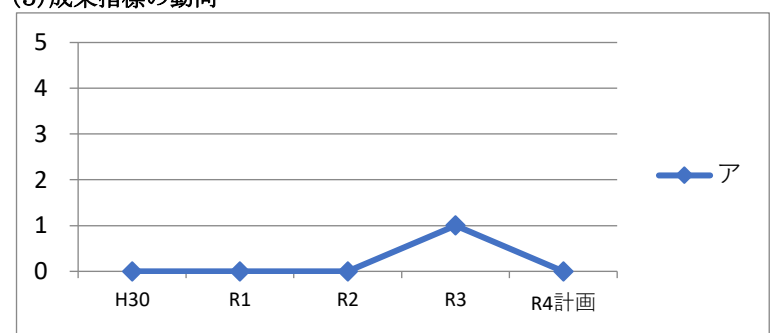
①成果優先度評価結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通		⑤	
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価結果	①			
	②			
	③			
	④⑤	(4)		
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況															☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難																				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)																																			
	② 成果の状況															成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下	成果動向	比較	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度							
	【コメント】 (低下の場合、その理由)																			☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下		30年度	1年度	2年度	3年度	4計画								
																							ア	0	0	0	1	Δ1								
																						イ														
③ 今年度取組事項 (4年度に取り組む主な事項について記載)															時期		内容													今後の方向性	☐ 拡大 ☒ 縮小		☐ 現状維持 ☐ 廃止・休止		☐ 見直し ☐ その他()	
															令和4年度		千葉県が施工する急傾斜地崩壊対策工事(見広2地区)について、関係法令に基づく地元負担金について協議する。														令和4年度以降		市道沿いの対策工事は道路維持補修事業で実施し、県施工事業への負担金支出を継続していく。			

令和 4 年 12 月 9 日時点

(1) 事務事業の概要		
① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	道路の安全性や利便性を向上させ、安全なまちづくりの推進を図ってゆくため、道路の新設や拡幅等を実施する事業 ・地元からの要望や将来性、緊急性等を考慮して道路の整備計画を策定 ・整備計画に基づく①道路の新設 ②狭い道路の拡幅 ③砂利道の舗装 の実施 ・その他、道路排水の整備（側溝の設置）	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
車社会の到来により、狭小な昔ながらの道路では歩行者などの安全な通行や緊急時に支障が生じる。生活の根幹となる道路の拡幅整備により都市基盤整備の推進となる。	道路改良率については、上昇しているが十分なものとはいえない。	道路改良、舗装新設については、住民から早期に事業着手してほしいと要望が多くあがっている。

従事職員数 常時 10 人 最大 10 人 × 20 日 = 延べ 200 人

手段	① 主な活動		⇒	③ 活動指標名		単位	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (計画)
	3年度実績(3年度に行った主な活動)										
	道路改良工事 L=573m 9件			ア 整備延長(単年度)		m	1,936	2,188	1,798	2,215	2,635
	道路排水工事 L=1167.7m 19件										
	道路舗装工事 L=107m 1件			イ 整備対象路線数		路線	29	37	27	32	30
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		⇒	④ 成果指標名		単位	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (計画)
	対象 市民										
	意図 道路を整備することにより、安全且つ快適に目的地への移動が可能となる。			ア 改良済延長(全体)		m	760,325	761,166	761,737	762,390	763,115
	対象意図			イ 道路改良率		%	68.4	68.4	68.4	68.5	68.6

①成果優先度評価結果		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通		⑤	
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価結果	①			
	②			
	③			
	④⑤		(8)	
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

Figure 1: Trend of the ratio of actual performance to target performance. The left Y-axis represents the ratio (0.0 to 100.0), and the right Y-axis represents the ratio (0.0 to 100.0). The X-axis shows the timeline from H30 to R4 planning. Category A (blue line with diamond markers) shows a steady increase from approximately 80% to 85%. Category I (red line with square markers) remains constant at approximately 65%.

Category	H30	R1	R2	R3	R4計画
A (Blue line with diamond)	80.0	81.0	82.0	83.0	84.0
I (Red line with square)	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0

① 進捗状況															☐ 完了		☒ 順調		☐ 概ね順調		☐ 停滞		☐ 実施困難						
評価内容	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)																												
	② 成果の状況															成果指標ア	成果指標 のタイプ		数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下	成果 動向	比較	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度
	【コメント】 (低下の場合、その理由)															成果指標イ			数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下		ア	9,261	841	571	653	725
③ 今年度取組事項 (4年度に取り組む主な事項について記載)															時期	内容				今後の 方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小		☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()					
															令和4年度	例年通り要望に応えられるよう実施				通年	例年通り要望に応えられるよう実施								

事務事業評価シート 令和 3 年度事後評価・決算

令和 4 年 12 月 9 日時点

事務事業名		コード	29700	広域排水計画の策定	予算科目	会計	課	項	目	所管課	建設課	担当班	土木班
施策体系	基本施策	20		居住環境の充実	根拠法令	一般				8	2	3	☒ 主な事業
	施策の展開	40		住み良い住環境の確保	戦略事業	188	広域排水計画の策定						☒ 国土強靱化地域計画
	施策の展開				戦略事業								☐ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☒ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない			
☐ 単年度繰返 ☒ 平成 25 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	市域全域について、排水計画を策定する。 ・流域・流末調査 ・排水整備事業に反映する			
③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化		⑤事務事業に対する住民からの意見等	
合併により、旧市町区域を横断的に計画策定できる状況になったことから、より効率的な整備を行うため、市域全域を対象とした排水計画を策定する。	道路冠水対策は、局所的な排水整備では解決が困難であり、広域的な排水系統に基づいた計画整備が必要となる。		未だ冠水被害が生じている地域があり、解消が望まれている。	

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (3年度の決算)		単位:千円	単位	30年度 (決算)	1年度 (決算)	2年度 (決算)	3年度 (決算)	4年度 (予算)
1.委託料	6,813	路線測量業務委託 2件	千円	-	-	30,392	6,813	56,100
2.補償補填及び賠償金	10,834	排水整備工事に伴う物件補償	千円	-	-	3,092	10,834	6,600
3.地域排水工事	25,160	イ地区排水整備工事	千円	-	-	55,342	25,160	125,794
4.その他			千円	-	-	144		70,070
② 特定財源の内訳 (3年度の決算)		単位:千円	事業費計 (A)					
1.国庫支出金			千円	-	-	88,970	42,807	258,564
2.都道府県支出金			千円	-	-			
3.地方債	33,100	冠水対策排水整備事業債	千円	-	-	55,400	33,100	126,000
4.その他			千円	-	-	33,570	9,707	132,564
5.一般財源			千円					

前年度増減理由
 令和2年度は2地区で排水路基本設計を実施しているため事業費が大きく、令和3年度は測量業務のみの実施であるため事業費が減少している。

従事職員数
 常時 3 人
 最大 3 人 × 30 日 = 延べ 90 人

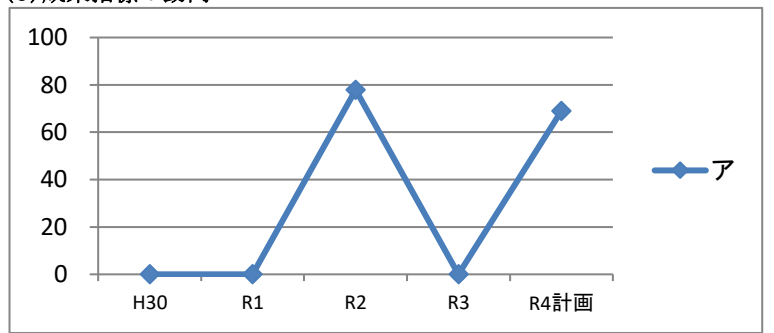
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (計画)
	3年度実績(3年度に行った主な活動) ニ・ハ地区、後草地区では排水基本設計の結果から改修区間を検討し、詳細設計に必要となる路線測量を実施した。 イ地区で排水整備工事を実施した。	ア 排水計画策定	地区	-	-	2	0	2
		イ						
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (計画)
	対象意図 排水計画 効果的且つ経済的な排水整備 対象意図 市民 浸水被害の防止	ア 排水整備延長	m	-	-	77.9	0.0	69.0
		イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

①成果優先度評価結果				②コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	大きい	成果向上余地		評価結果	①	コスト比率	
		かなりある	ある程度ある			下位 1/3	中位 1/3
	普通			②			
	小さい			③			
				④⑤			(8)
				⑥			
				⑦⑧			
				⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標ア	成果指標イ	☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	成果動向	29年度 30年度 30年度 1年度 1年度 2年度 2年度 3年度 3年度 4計画
	③ 今年度取組事項 (4年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	☒ 拡大 ☐ 縮小	☐ 現状維持 ☐ 廃止・休止 ☐ 見直し ☐ その他 ()
		令和4年度	ニ・ハ地区、後草地区では排水基本計画に基づき、工事実施のための詳細設計を行う。イ地区では排水整備工事を行う。	令和5年度以降	ニ・ハ地区、後草地区、イ地区で排水整備を行う。冠水被害を抑える。	

事務事業評価シート 令和 3 年度事後評価・決算

事務事業評価シート						令和 3 年度事後評価・決算			令和 4 年 12 月 9 日時点					
						所管課		建設課		担当班		土木班		
事務事業名		コード	29900	旭中央病院アクセス道整備事業		予算科目	会計 一般		款	8	項	2	目	3
施策体系	基本施策	17	安全で快適な道路の整備			根拠法令	道路法							
	施策の展開	34	主要道路の整備			戦略事業	157	旭中央病院アクセス道の整備(南北線)						
	施策の展開					戦略事業								
	施策の展開					戦略事業								
						事業種別								
						☒ 主な事業								
						☒ 国土強靱化地域計画								
						☒ 新市建設計画								
						☒ 定住自立圏構想								
						☐ 主要事業								

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
☐ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☒ 期間限定複数年度 平成 18 年度～ 令和 2 年度まで	東総広域農道琴田地先から旭警察署の東側を經由し、旭中央病院に至る道路を整備する。 L=3,200m,W=11.5m		旭中央病院周辺では慢性的な交通渋滞が発生し、緊急車両等の通行に支障をきたしている。	特になし
③事務事業開始の経緯・事務事業の現状				
円滑な交通網を整備することにより、国道及び市街地の慢性的な交通渋滞を解消し、交通利便性の向上や歩行者の安全性の確保を図る。				

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (3年度の決算)		単位:千円	単位	30年度 (決算)	1年度 (決算)	2年度 (決算)	3年度 (決算)	4年度 (予算)
1.工事請負費	166,357	道路改良工事	千円	214,923	202,329	233,832	166,357	
2.公有財産購入費		道路用地購入費	千円	10,298	860			
3.補償補填及び賠償金		補償金	千円	3,656				
4.委託料		調査・設計委託料	千円	1,873	601	1,858		
5.その他		土地等借上料	千円	227				
② 特定財源の内訳 (3年度の決算)		単位:千円	事業費計 (A)					
1.国庫支出金	37,400	社会資本整備総合交付金	千円	230,977	203,790	235,690	166,357	
2.都道府県支出金			千円	31,166	42,200	88,187	37,400	
3.地方債	122,500	旭中央病院アクセス道整備事業債	千円	186,900	153,300	137,800	122,500	
4.その他			千円	12,911	8,290	9,703	6,457	

前年度増減理由	令和2年度からの繰越工事のみのため
---------	-------------------

従事職員数	常時 2 人	最大 人	× 日 = 延べ 人
-------	--------	------	------------

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名		単位	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (計画)
	3年度実績(3年度に行った主な活動) 道路改良工事 179m	ア	整備延長(単年度)	m	1,171	660	2,556	179	
		イ	用地取得率(面積ベース)	%	98	100	100	100	

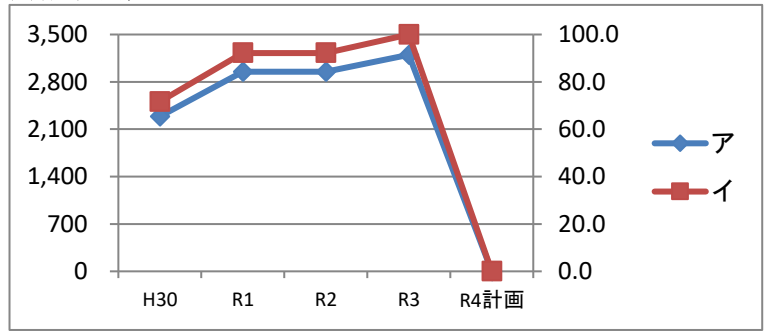
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名		単位	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (計画)
	対象意図 市道及び利用者 安全かつ円滑な交通の確保	ア	道路整備延長	m	2,291	2,951	2,951	3,200	
	対象意図	イ	整備率	%	71.6	92.2	92.2	100.0	

(4) 事務事業優先度評価の結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい	①		
	普通			
	小さい			

		コスト比率		
		下位1/3	中位1/3	上位1/3
成果優先度評価結果	①	(1)		
	②			
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☒ 完了 ☐ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	数値減＝成果向上	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標のタイプ	成果指標のタイプ	☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	成果動向
						ア 1,171 660 0 249 Δ3,200 イ 36.6 20.6 0.0 7.8 Δ100.0
③ 今年度取組事項 (4年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容		今後の方向性	現状維持 ☐ 見直し ☐ 廃止・休止 ☐ その他 ()	

事務事業評価シート 令和 3 年度事後評価・決算

				令和 4 年 12 月 9 日時点			
				所管課	建設課	担当班	土木班
事務事業名	コード	30000 飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業	予算科目	会計 一般	款 8	項 2	目 3
実施体系	基本施策	17 安全で快適な道路の整備	根拠法令	特になし			
	施策の展開	34 主要道路の整備	戦略事業	158 飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業			
	施策の展開		戦略事業				
				事業種別			
				☒ 主な事業			
				☐ 国土強靱化地域計画			
				☒ 新市建設計画			
				☒ 定住自立圏構想			
				☒ 主要事業			

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☐ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☒ 期間限定複数年度 平成 21 年度～ 令和 6 年度まで		交流基盤を強化するため、飯岡三川地区と海上蛇園地区を連絡する新設道路を整備する事業である。 整備後は、東総広域農道から国道126号までを直結できるため、広域的な道路網が形成され地域間交流の活性化が期待できる。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
1市3町合併時に策定した新市建設計画の主要施策として事業化したものである。		事業費が一般的な道路整備に比べ大きいため、その財源確保が課題となっている。	事業費が大きいことから、事業の必要性が問われている。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (3年度の決算)		単位: 千円
1. 委託料	532,463	鉄道横断工事委託料 (R1線 70,000、R2 250,000)
2. 工事請負費	31,530	道路改良工事 1件
3. 用地費	1,968	1件
4. 補償費		
5. その他	3,493	土地等借上料 6件
② 特定財源の内訳 (3年度の決算)		単位: 千円
1. 国庫支出金	183,599	社会資本整備総合交付金
2. 都道府県支出金		
3. 地方債	363,200	飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業債
4. その他		

		単位	30年度 (決算)	1年度 (決算)	2年度 (決算)	3年度 (決算)	4年度 (予算)
事業費	費目内訳						
	1. 委託料	千円	7,171	648	320,000	532,463	422,388
	2. 工事請負費	千円	2,484	12,759	44,310	31,530	70,726
	3. 用地費	千円		4,685		1,968	16,412
	4. 補償費	千円					3,227
財源	5. その他	千円		190	3,493	3,493	
	事業費計 (A)	千円	9,655	18,282	367,803	569,454	512,753
	1. 国庫支出金	千円	9,100	3,405	111,595	183,599	228,049
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円		13,900	240,000	363,200	215,500
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円	555	977	16,208	22,655	69,204

前年度増減理由	鉄道横断工事が進捗し委託料が多くなっている。
---------	------------------------

従事職員数	常時 2 人	最大 4 人	×	30 日	=	延べ 120 人
-------	--------	--------	---	------	---	----------

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

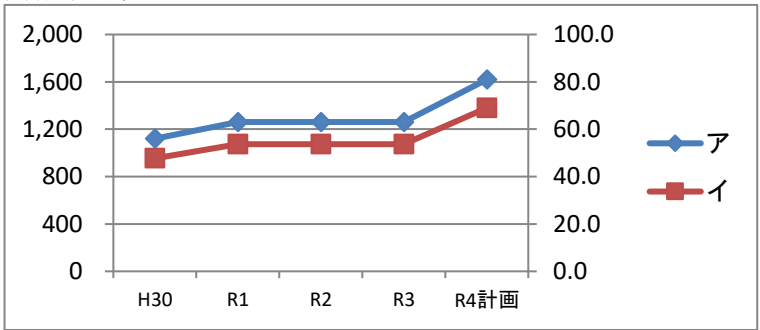
手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (計画)
	3年度実績 (3年度に行った主な活動) 鉄道横断工事委託 用取得1件 道路改良工事	ア 整備延長 (単年度)	m	0	140	0	0	360
		イ						
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (計画)
	対象 市民 意図 道路整備により地域間が結ばれ、地域間交流の活性化が図れる 対象 道路利用者 意図 道路整備により、安全且つ快適な移動と渋滞回避が望める	ア 道路整備延長	m	1,120	1,260	1,260	1,260	1,620
		イ 整備率	%	47.7	53.7	53.7	53.7	69.0

(4) 事務事業優先度評価の結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通	③		
	小さい			

		コスト比率		
		下位1/3	中位1/3	上位1/3
成果優先度 評価結果	①			
	②	(2)		
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧			
⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)				☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	29年度 30年度 1年度 2年度 3年度 30年度 1年度 2年度 3年度 4計画
	③ 今年度取組事項 (4年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容		今後の方向性	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他 ()
		令和4年度	鉄道横断工事委託 未整備区間の道路改良工事を行い、未取得用地の交渉を進める。		令和5年度以降	令和6年度の完成に向けて、未整備区間の工事、未取得用地の買収を行う。

事務事業評価シート 令和 3 年度事後評価・決算

令和 4 年 12 月 9 日時点

事務事業名		コード	30100	南堀之内バイパス整備事業	予算科目	会計	一般	款	8	項	2	目	3	事業種別	事業種別
基本施策		17		安全で快適な道路の整備	根拠法令									☒ 主な事業	
施策の展開		34		主要道路の整備	戦略事業	159								☒ 国土強靱化地域計画	
施策の展開					戦略事業									☒ 新市建設計画	
														☒ 定住自立圏構想	
														☒ 主要事業	

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 19 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	国道126号から、(主)大栄・栗源・干潟線までを結ぶ本路線を整備することで、広域的なネットワークが確立され、首都圏へのアクセスも多様化するなど地域の産業振興の発展と生活基盤の活性化が図られる。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
【開始の経緯】 ①産業振興の発展 ②通勤時間帯の渋滞緩和・利便性の向上	【課題】 難航していた用地取得は完了したが、10年以上前に設計した道路線形に修正が生じ、工事発注が困難。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
早期完了を望む要望が多数有	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (3年度の決算)		単位: 千円
1. 委託費	3,185	
2. 工事費	112,826	道路改良工事
3. 用地費		
4. 補償費		
5. 土地等借上料		
② 特定財源の内訳 (3年度の決算)		単位: 千円
1. 国庫支出金	45,985	社会資本整備総合交付金
2. 都道府県支出金		
3. 地方債	68,181	南堀之内遊正線整備事業債
4. その他		

事業費	費目内訳	単位	30年度 (決算)	1年度 (決算)	2年度 (決算)	3年度 (決算)	4年度 (予算)
事業費	1. 委託費	千円		100	10,754	3,185	
	2. 工事費	千円	7,624	7,550	64,040	112,826	135,300
	3. 用地費	千円		249			
	4. 補償費	千円	791				700
	5. 土地等借上料	千円					600
財源	事業費計 (A)	千円	8,415	7,899	74,794	116,011	136,600
	1. 国庫支出金	千円			18,909	45,985	12,408
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円		7,500	52,900	68,181	124,192
	4. その他	千円					
5. 一般財源		千円	8,415	399	2,985	1,845	

前年度増減理由	用地取得が完了したことから工事の進捗率が上がった。
---------	---------------------------

従事職員数	常時 2 人	最大 人	× 日 = 延べ 人
-------	--------	------	------------

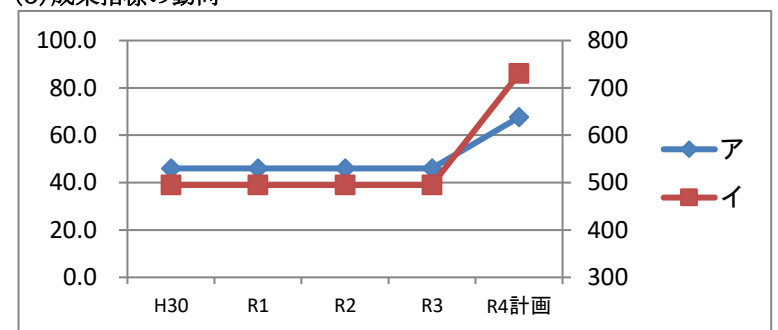
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

① 主な活動		③ 活動指標名	単位	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (計画)
手段	3年度実績 (3年度に行った主な活動)	ア 用地買収率 (面積ベース)	%	99	100	100	100	100
	用地買収済区間における約180mの区間について道路改良工事 (掘削工) を実施した。 (R2繰越工事)	イ 整備延長	m	0	0	0	0	235
目的	用地買収済区間における約390mの区間について道路改良工事を実施中。 (R3繰越工事)	ア 工事進捗率	%	46.0	46.0	46.0	46.0	67.6
	令和4年度施工予定である大利根用水西幹線水路横断部の修正設計を実施した。	イ 道路整備済延長	m	495	495	495	495	730
② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標名	単位	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (計画)
目的	対象 利用者 (市民)	ア 工事進捗率	%	46.0	46.0	46.0	46.0	67.6
	意図 安全・安心かつ円滑な道路交通の確保が図れる	イ 道路整備済延長	m	495	495	495	495	730
	対象 市道							
	意図 安全性の向上							

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	大きい	成果向上余地	評価結果	①	コスト比率
		かなりある			下位 1/3
大きい	①			(1)	
	普通				
	小さい				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 停滞	☐ 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上
【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上
③ 今年度取組事項 (4年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	現状維持	見直し
令和4年度	残区間の道路改良工事を進める			☒ 現状維持	☐ 見直し

令和 4 年 12 月 9 日時点

(1) 事務事業の概要		
☐ ① 事務事業の期間 ☐ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☒ 期間限定複数年度 平成 25 年度～ 令和 2 年度まで	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない 東日本大震災の津波被災地域における避難道路の整備及び被災地域の復興のための重要路線の整備を実施する。 横根・三川線(飯岡地区と津波避難場所である飯岡中学校を結ぶ路線) L=1.3km (平成25～令和2年度) 椎名内・西足洗線(椎名内地区と災害拠点病院及び防災拠点である旭中央病院を結ぶ路線) L=3.0km (平成26～令和2年度)	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状 災害時の避難道路の確保や被災地域と防災拠点のアクセス向上をはかるため。	④ 事務事業に関する課題・環境の変化 用地取得の進捗が課題。	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等 住民からは事業の早期完了が求められている。

		単位	30年度 (決算)	1年度 (決算)	2年度 (決算)	3年度 (決算)	4年度 (予算)	
事業費	費目内訳	1. 道路改良工事	千円	70,074	212,546	194,708	341,808	414,447
		2. 補償金	千円	90,132	26,977	21,005	24,745	29,500
		3. 委託料	千円	16,815	4,897	5,940	443	19,033
		4. 用地購入費	千円	58,346	38,954	13,881	7,295	36,500
		5. その他	千円			13	38	
		事業費計 (A)	千円	235,367	283,374	235,547	374,329	499,480
	財源		1. 国庫支出金	千円	94,490	84,656	53,666	112,260
		2. 都道府県支出金	千円					
		3. 地方債	千円					
		4. その他	千円	59,042	6,609	10,037		
		5. 一般財源	千円	81,835	192,109	171,844	262,069	476,127

従事職員数 常時 2 人 最大 4 人 × 30 日 = 延べ 120 人

手段	① 主な活動		⇒	③ 活動指標名		単位	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (計画)	
	3年度実績(3年度に行った主な活動)			ア		用地取得率(横根・三川線)	%	70	75	82	87	90
	道路改良工事			イ		用地取得率(椎名内・西足洗線)		77	87	91	91	100
	用地取得・補償			イ		整備延長(横根・三川線)	m	300		100	61	250
							620	620	1,109	1404	930	
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		⇒	④ 成果指標名		単位	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (計画)	
	対象	市民		ア		供用済延長(横根・三川線)	m	240	240	240	301	301
	意図	災害時の避難道路の確保		イ		供用済延長(椎名内・西足洗線)	m	330	620	1,230	2,070	3,000
	対象											
意図												

①成果優先度評価結果		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい		②	
	普通			
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価結果	①			
	②			
	③			(9)
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

年度	ア (左軸)	イ (右軸)
H30	1,200	400
R1	1,200	600
R2	1,200	1,200
R3	1,600	2,000
R4計画	1,600	3,000

① 進捗状況														☐ 完了		☐ 順調		☒ 概ね順調		☐ 停滞		☐ 実施困難	
評価内容	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)																						
	② 成果の状況		成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☒ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	成果動向	比較	29年度	30年度	1年度	2年度	3年度							
			成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☒ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	ア		30年度	1年度	2年度	3年度	4計画								
	【コメント】 (低下の場合、その理由)								イ		0	0	0	61	0								
											330	290	610	840	930								
③ 今年度取組事項 (4年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容		今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小		☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()														
		令和4年度	用地取得交渉を継続し、工事を進捗させる		令和4年度	用地取得及び道路工事を継続する																	

令和 4 年 12 月 9 日時点

(1) 事務事業の概要		
① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 25 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	旭市橋梁長寿命化修繕計画に基づいた、予防保全型の維持管理を行う。 旭市管理橋梁 319橋	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
従来の対処療法的な修繕から予防保全的な修繕への転換を図り、長寿命化によるコスト縮減を図る。	進展する橋梁の老朽化に対し、効率的かつ効果的な維持管理を行う必要がある。	特になし

従事職員数 常時 2 人 最大 人 × 日 = 延べ 人

手段	① 主な活動		⇒	③ 活動指標名		単位	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (計画)
	3年度実績(3年度に行った主な活動) 令和元年度より行っている橋梁法定点検N=106橋を実施する。川西橋外4橋補修設計し、無名橋4橋の補修工事を行い、健全度の回復を図った。			ア	補修橋梁数	橋	13	0	1	5	4
				イ	点検橋梁数	橋	0	74	136	106	2
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		⇒	④ 成果指標名		単位	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (実績)	4年度 (計画)
	対象 意図	市道及び利用者 安全かつ円滑な交通の確保		ア	補修済橋梁数	橋	36	36	37	42	46
	対象 意図	道路橋下の管理者 第三者への被害の防止		イ							

①成果優先度評価結果		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通			⑦
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度 評価結果	①			
	②			
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧	(7)		
	⑨			

年度	ア
H30	36
R1	36
R2	37
R3	42
R4計画	46

評価内容	① 進捗状況														
	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難														
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)														
	② 成果の状況														
	成果指標ア 成果指標イ	成果指標 のタイプ		数値増＝成果向上	☒ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	比較 成果動向	29年度 30年度	30年度 1年度	1年度 2年度	2年度 3年度	3年度 4計画		
				☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	ア 13		イ 0	1	5	4			
【コメント】 (低下の場合、その理由)															
③ 今年度取組事項 (4年度に取り組む主な事項について記載)															
時期		内容					今後の方向性								
令和4年度		橋梁維持補修工事の発注 橋梁設計業務委託					☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止 ☐ 見直し ☐ その他()							
							令和5年度以降	修繕計画の更新 橋梁維持補修工事の発注 橋梁設計業務委託							